

第1回地域振興会議西ブロック会議議事概要

日 時 令和元年7月22日(月) 午後1時30分～午後3時30分

場 所 青谷町総合支所 多目的ホール

【出席委員】

鹿野地域

小川義和委員、高田守委員、山下直司委員、兼平恵委員、砂川重雄委員、
山本章委員、佐々木千代子委員、向井健太郎委員、藤原真道委員 9名出席

気高地域

河根裕二委員、久野壯委員、秋吉順子委員、池長綾子委員、池原隆秋委員、
木下公明委員、居川一委員、三澤秀正委員、田中敦志委員、荒尾極委員 10名出席

青谷地域

高橋克己委員、前田孝行委員、平尾繁幸委員、久野浩太郎委員、奥谷吉男委員、
長谷川和郎委員、濱江和恵委員、塩とみ子委員、松岡礼子委員、上田洋子委員、
大石剛史委員 11名出席

【事務局】

鹿野町総合支所：

徳岡支所長、岡田産業建設課長、三谷市民福祉課長、小林地域振興課課長補佐

気高町総合支所：

武田支所長、岡本副支所長、久野産業建設課長、大角市民福祉課長、
石井地域振興課課長補佐

青谷町総合支所：

山本支所長、安達副支所長、關木産業建設課長、高野市民福祉課長、
山口地域振興課課長補佐

経済観光部 観光・ジオパーク推進課 川口係長

【傍聴者】 なし

【日程】

1 開 会

2 会長あいさつ 青谷地域振興会議会長 高橋委員

(議長選出 青谷地域振興会議会長 高橋委員)

(地域振興会議委員及び支所職員自己紹介)

3 協議事項

(1) 鳥取西道路開通と「道の駅西いなば気楽里」のオープンを契機とした西地域の活性化について

①「道の駅西いなば気楽里」について

鳥取西いなばまちづくり株式会社 取締役副社長 池原隆秋氏より、道の駅設立の経過やオープン後の集客人数、売上等について説明。その後、委員が様々な立場で意見交換、情報交換。

【委員】足湯について、現地で源泉を掘るという案もあるようだが、3温泉地のPRも兼ねた施設であるため、現地で掘ってしまったのでは各温泉名と違って来る。浜村・鹿野・吉岡温泉のお湯を順番に足湯に入れ、例えば「本日は鹿野温泉のお湯です。」とわかるような看板などがあれば良いと思う。

【委員】駐車場の車のナンバー等で来場者がどこから来ているのか把握できたらいいと思う。

【まちづくり会社】来場者についての詳しい分析はまだおこなっていません。

【委員】出荷者の協議会の世話をしているが、地元の農家の生産者の参加が少なく、地域の農産物が集まっていない。軌道に乗るまで2～3年かかると聞いているので今は仕方無いが、みんなで育てて作って行くものだと思うので、地域振興会議でもバックアップしていくことが必要。

【まちづくり会社】地域の特産品を目当てに来場される方が多いので、農産物、鮮魚など年間を通じて供給していく必要があります。

【委員】青谷高校と中学校や小学校の交流の場として道の駅を利用していきたい。

【委員】道の駅は、地元の人が何度も訪れるような場所で、地元の人が元気になるように発展をしていかないといけない。地域の魅力を発信する中で、若者を巻き込むことは大切なので、農産物だけでなく人づくりを行う拠点としても道の駅を絡ませていくべきだと思う。

【委員】道の駅に近隣のお食事処のマップが置いてあればいいと感じた。

【委員】Gバスでは、西道路の開通を契機に西いなばの魅力を再発見するコースを9回運行する計画がある。7月20日の運行のGバスでは、道の駅で地元の貝がら節保存会による貝がら節を披露してもらい、Gバスの参加者だけでなく、来場者の方も楽しんで頂けた。このようなイベントをどんどん実施していかないといけないと思う。道の駅を西地域の活性化の拠点として行政とまちづくり会社、住民が一体となってイベントを盛り上げる必要がある。

【委員】キャンピングカーがたくさん駐車している。近隣住民に迷惑をかけないように配慮した上で、キャンピングカー利用者が夜間も活用できたらいい

- 【委員】道の駅に人が集まって、そこから気高、鹿野、青谷に出かける仕掛けや企画が必要。例えば道の駅にレンタサイクルを置くとか、一人乗りの電気自動車を置いてはどうか。また、体験加工室・地域交流室で子どもを対象とした料理教室や自由研究の工作等のイベントを実施してはどうか。
- 【委員】体験加工室・地域交流室を利用したいと思っている西いなば地域のグループはたくさんあると思うので、利用料金等の詳細が決まったら支所などにも情報を提供して欲しい。
- 【委員】10年後、20年後を見据えて意見を反映しながら取り組んで欲しい。食べ物が充実した所に人が集まるので、食事を充実して欲しい。
- 【まちづくり社】貴重な意見をありがとうございました。皆様に愛していただけるような道の駅にしたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひします。

②鳥取西道路開通観光キャンペーンの概要について (資料ダウンロード)

観光・ジオパーク推進課 川口係長説明

- 【委員】9割が概ね好意的な感想だとあったが、1割の悪い意見にはどのような意見があるのか。
- 【ジオ推進課】インターチェンジを降りてから、主要な観光施設への案内看板が少ない、道に迷ったとの意見もありましたので、マイナスの要素と感じています。
- 【議長】入込数の増加だけでなく、山陰道開通や道の駅がオープンして、数字以上に実際に変化などを感じられていることが何かありましたら紹介してください。
- 【委員】道の駅に関する特産品開発に携わってきたが、道の駅に農畜水産加工室が出来たので日曜日だけ「ほたて貝のご飯」を作り、販売している。お客さんから美味しかったと言われると嬉しいし、生き甲斐に繋がればいいと感じる。農畜水産加工室を通じて、ものづくり、人づくりが出来たら良いなと思っている。
- 【委員】青谷上寺地遺跡展示館も20～30%来客数が増えているので、多少は影響しているのかなと感じている。
- 【委員】気高の観光センターが寂しい状態で、お客さんも商品も道の駅に移ったように感じている。
- 【委員】鳥取西道路沿線地域魅力づくり支援補助金を利用しているが、現在の補助金の申請状況や申請の基準について教えて欲しい。
- 【ジオ推進課】現在交付決定を行ったのは2件です。あと8枠ありますが、要綱上1事業者1回限りとさせていただいています。
- 【委員】かなり詳しく鹿野のことが書いてあるJR西日本のパンフレットがあるので機会があれば見て欲しい。
- 【委員】亀井公を大河ドラマに取り上げていただきたいとNHKに署名をもってお願いに

行く予定なので、その時は協力をお願いしたい。

【委員】 司馬遼太郎さんが鹿野や夏泊について文章を書かれている。JR西日本のパンフレット等も含め、地域住民からも魅力を発信することを考えることも必要。

【委員】 道の駅を作る段階から、西いなばのパイは決まっているので、地元の人ばかり集めたのでは昔からある商店街がさびれていくことになり意味が無いと言われていたように、いかに宣伝し地域外から人を呼ぶかが課題だと思う。

【委員】 地元を大切にす気持ちるを3町が持たないといけない。地域との連携や良い意味での競争が必要で、地域振興会議西ブロック会議は1+1+1が3ではなく5になるようにする会だと思ふ。

③鳥取市西地域イベントについて (資料ダウンロード)

事務局説明

【委員】 Gバスは面白い企画で、活性化に繋がると思ふので、単年度で終わらないで続けて欲しい。3町が元気になるという視点でパンフレットを作成して欲しい。

【委員】 もっと西地域の交流・共通のイベントがあっても良いと感じた。また、既存のイベントを道の駅で実施するなどを考えてみてはどうか。文化祭の作品を道の駅気楽里に飾るなどの手立てができないか。

【まがり鉦】 まずは、西ブロックの財産でもある青谷高校との共催事業を計画中であり、そこから拡充を図っていきたい。

(2) その他 特になし

4 その他

【委員】 イベントの参加人数の基準、カウントをしっかりとて欲しい。

【委員】 耕作放棄地がどんどん増え、農業の担い手不足が深刻。3町で担い手の育成や、集落営農を進める必要もある。幸い道の駅ができたので、少量でも良い物を作れば販売収入も得られると思ふので、耕作できる所は耕作することが必要。また、米のブランド化を進めるなど、農業の活性化も3町の地域振興会議で考えていたきたい。商業も工業も農業もまずは人づくりが大切だと思ふ。

5 閉会

【議長】 本日のブロック会議での意見の結論的なものはありませんが、持ち帰っていただき各地域の振興会議で協議等をしていただけたらと思ひます。